

いっしょに作っていっしょに食べよう！

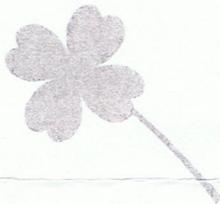
北海道と福島の食材で！

協力 こおりやま子育ての会 / 後援 ママチャンネルまつり実行委員会

2018年9月、厚真町、安平町、むかわ町、苫小牧市他、北海道で大きな地震がありました。その際には、東北の方々から心配や励ましの声を沢山いただきました。8年前の東日本大震災以降に生まれた東北と北海道のつながりは、現在も続いています。私たち「ふくとま」も、そのつながりの中から成長してきた市民グループです。私たちは、子ども達の未来のため、このつながりをこれからも残しておきたいと思います。このイベントは「ふくとま」が北海道から出張して行く、北海道と福島の食材を使った、小さな、そして美味しく楽しい、交流イベントです。

いっしょに作って、いっしょにおいしく食べましょう！

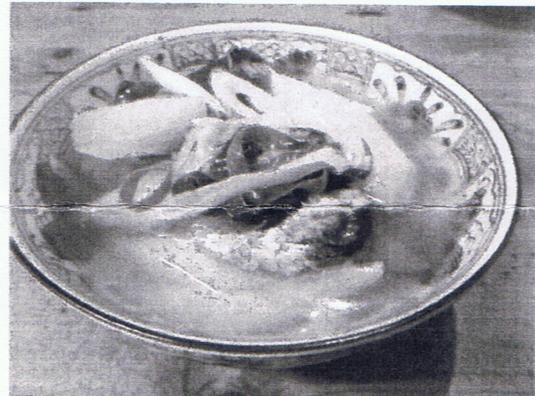
- 1 会場 郡山市中央公民館（調理室） 郡山市麓山1丁目8-4
- 2 開催日時 平成31年3月30日（土）
10:00受付 10:15~15:00
- 3 参加対象 開催日に中学生以下の子どもとその親（または祖父母）。
- 4 定員 親子で合わせて20名程度（申し込み多数の時は先着順）。
- 5 参加費 保護者及び中学生800円、小学生500円、3才以上300円、2才以下無料
- 6 今回の料理 オハウ（アイヌ民族料理 三平汁の原型）、赤飯（北海道式）、菜の花と貝柱のご飯、他デザート含め2品
- 7 申込み期間 平成31年3月5日~26日（定員になり次第締め切り）
- 8 申込み・問合せ ふくとま 石田 オハウ（ニシンと昆布と根菜の旨味がギュッ！）
携帯電話
090-5223-5476



ふくとまは
「連合 愛のカンパ」
助成を受けています



菜の花と貝柱のご飯



「ふくとま」ってどんな市民グループ？

「保養」を活動の主体とした、2012年に発足した北海道苫小牧市の市民グループです。

「保養」とは、福島第一原発事故以降空間放射線が高くなった地域から事故前と同程度の線量の地域に移動して滞在することをいいます。

ふくとまでは、苫小牧で保養を行う方を支援しています。（期間は夏休みの一週間）

保養支援の費用は、主義主張を超えて「子ども達の健やかな未来のため」に寄せられた寄付や助成金等で賄われています。

今回のイベントは、保養をするしないには関係なく、「子ども達の未来のため」に、北海道と福島県の人々のつながりを生かして行くものです。